

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学 事	-----	
平成25年4月3日入学式学長式辞	.....	2
平成25年度入学者数	.....	3
医学博士授与者（平成24年度後期・平成25年度前期）	.....	3
○ 人 事	-----	
新役員・新任教授等・新任准教授等・新任講師等・新任事務局等	.....	4
新任あいさつ	.....	6
• 理事・副学長・医学部長 大戸 齊		
• 会津医療センター長 高久 史磨		
• 甲状腺内分泌学講座 主任教授 鈴木 眞一		
• 臨床検査医学講座 主任教授 志村 浩己		
• 会津医療センター漢方医学講座 主任教授 三瀧 忠道		
• 会津医療センター精神医学講座 主任教授 井上 新平		
• Professor,Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey Kenneth E. Nollet		
• 器官制御外科学講座 教授 大竹 徹		
• 地域救急医療支援講座 教授 伊関 憲		
• 理事長付特命教授 川原 礼子		
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成25年2月から平成25年7月までの主な諸規程の制定改廃関係	.....	10
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	.....	19
経営審議会	.....	19
教育研究審議会	.....	19
医学部教授会	.....	19
看護学部教授会	.....	20
○ 雑 報	-----	
寄附講座の開設について	.....	20
会津医療センターの開設について	.....	20

## 学 事

### ■ 平成25年4月3日 福島県立医科大学 入学式

#### 学長式辞

福島県立医科大学 学長 菊地 臣 一

本日、福島県立医科大学大学院及び大学に入学を許可されました諸君、誠におめでとうございます。本学は、今、原発事故という過去に例をみない惨禍との<sup>たたか</sup>闘いの最前線に立っています。そこでは県民、国民、そして人類の健康問題に国内外の支援を得て、一丸となって取り組んでいます。

教職員一同、君達の入学を心から歓迎いたします。先人の叡智は、困難に直面した時、それを「悪いこと」とは嘆かず、「自らを鍛える良い機会」と捉えて、その困難と闘うことの大切さを説いています。君達は、自分の価値観に基づき、覚悟を持って、今、ここに居るのだと、私は確信しています。

入学式とは「未来の覚悟」を表明する場です。君達は、看護や医療のプロになる、そして史上初めての原発事故に遭遇して、多くの住民の健康管理という、人類がまだ誰も踏み入れたことのない取り組みに、何らかの形で関わっていくという覚悟を持って、この入学式に臨んでいると思います。

今日から、一人一人がこの<sup>まなびや</sup>学舎で、知識の獲得、経験、そして挫折を通じて、看護や医学を志す人間としての価値観を培っていくのです。それを獲得していくには、日々の努力が求められます。しかも、修業では、努力の目標は「結果」ではないのです。結果を目指すことにあるのです。この点が、今まで君達が持っていたであろう認識と違う点です。人は、目標があればどんな事にも耐えられます。

今日、新たな一步を踏み出した君達、本学での出会いを大切にしてください。「<sup>あ</sup>遇うて空しく過ぐる勿れ」です。人生は出会いに尽きます。何故なら、“人生の扉は他人が開く”からです。どの出会いが自分にとって大切かは、その時は分かりません。だからこそ、一つ一つの出会いに真摯に向き合うことです。出会いは、自分を成長させ、そして人生を豊かにしてくれます。「出会い」に運命的な出会いなどというものはなく、出会った後に、お互いが相手に信頼と敬意を持って接する、長い日々の営みの積み重ねが、絆をつくり、その結果が「掛け替えのない友や恩師」を作っていくのです。

これからの学びの日々、君達は制服を身に纏います。「外形は内容を規定する」という箴言に従えば、制服は着る者に小さな覚悟を強めます。白衣は、君達に誇りと忍耐を求めます。その事を意識して、今日からの学生生活を送って

下さい。

この瞬間から、君達は「何になったか」ではなく「何をしたか」が問われるのです。その過程では、我々は、何かを獲得しようとする時には、同じだけ何かを捨てなければなりません。その時、裡なる声<sup>うち</sup>が君達に問い掛けます。自分の人生観はどちらを選ぶのかと。その選択基準は、看護や医療のプロとして、人生の最後に向き合った時、「自分は誇りを持って、ぶれずに生きてきたか」という自らへの問い掛けです。

学びの日々の中、君達はこれから様々な哀しみや挫折を味わう筈です。でも、恐れたり怯むことはありません。人間は、皆失敗しながら生きているのです。そのうえ、もっと酷い失敗も起こります。でも、皆自分なりのベストを尽くして、ひた向きに生きているというのが世の中です。大切なことは、日々遭遇する、目の前の一つ一つに、逃げずに愚直に向き合うことです。

人間というものは、人生が配ってくれたカードでやっていくもので、配られたカードが悪いと愚痴をこぼしたりするものではありません。人生こうしようああしよう計画を立てて、自分の人生を考えても、その通りになることはありません。殆ど違った方向へ行ってしまうのです。でも、大切なことは、その場その場で自分のベストを尽くすことです。

私の医師としての経験から、世の中には変わるものも多いが、変わらないものも少なくない、というのが実感です。その中から君達に三つの言葉を贈ります。

一つは「修業とは矛盾に耐えること」です。それに耐えられなければ、看護や医療のプロとして、一人前にはなれません。「修業」の場では多少の矛盾や不条理に耐えていくことが求められます。修業や人生とは、「さまざまな厄介ごとの中を、折り合いをつけて生き抜いていく場」という認識と覚悟を持って歩んでください。先輩や教師は、君達がひたむきに努力している姿をみると、君達を愛しく思い、教養<sup>はく</sup>育もうという熱意を持てるのです。「風を待っている軒下の風鈴」では決して鍛えられません。双方の熱意がぶつかり合って初めて、「人生の扉は他人が開く」という言葉が君達の前に<sup>あらわ</sup>顕れるのです。

もう一つは、「愚直なる継続」です。これを実行するには鉄のような意志が必要です。何でもよいですから、毎日継続できるものを選んで取り組んでみてください。「愚直なる継続」は、他人とではなく、自分との闘いです。愚直なる継続を貫くには、時には、心に鎧を着せて学ぶことも求められます。

最後に、「自ら杵を作らないこと」です。自分で自分の将来像を勝手に決めると、それ以上は自分の能力を発揮できません。高い目標を先ず設定して、それを達成するために、自分にできる全ての努力をそこに集中することです。今までの、そしてこれから味わうであろう悔しさや無念さも、努力できる原動力になります。

看護や医療の現場では、寝ている人間を起こしたり、座っている人間を立たせる程の時間は、誰も持っていません。「人生は短いのではなく、実はその多くを浪費しているのだ」という古人の箴言を胸に刻んで、学びの日々を送って下さい。

今、本学は、原発事故に対して国民や県民の健康を見守り、我々が得た知見を世界に発信していくという新たな歴史的使命を負っています。君達の、そして福島県立医科大学の歴史的な使命に新たな頁を書き足すのは、君達自身なのです。今日からの君達の精進を期待しています。

### ■ 平成25年度福島県立医科大学入学者数

#### ① 医学部新入生130名

	男	女	計
県内	37名	16名	53名
県外	57名	20名	77名
計	94名	36名	130名

#### ② 看護学部新入生84名

	男	女	計
県内	5名	57名	62名
県外	5名	17名	22名
計	10名	74名	84名

#### ③ 大学院新入生52名

	男	女	計
医学研究科(博士) 4月入学	30名	7名	37名
医学研究科(博士) 10月入学	7名	3名	10名
医学研究科(修士)	2名	3名	5名
看護学研究科(修士)	0名	0名	0名
計	39名	13名	52名

### ■ 医学博士授与者

#### 平成24年度後期分医学博士授与者

氏名	学位	論文名
菊地 大輝	博士	Clinicopathological studies of SLC37A1 expression in colorectal cancer.
大原信一郎	博士	The role of vascular endothelial growth factor and angiotensin 1 in renal injury in Hemolytic Uremic Syndrome.
兒玉 利尚	博士	ピーナッツアナフィラキシーモデルマウスにおける補体の役割

星野 寧人	博士	Age-related oxidant stress with senescence marker protein-30 deficiency plays a pivotal role in coronary artery spasm.
西形 里絵	博士	緊縛性ショックモデルマウスの病態生理解析
谷 良宏	博士	Clinical applicability of albuminuria testing in Japanese hypertensive patients.
鳥羽 衛	博士	環境中の大腸菌を検出するための培養法の検討
矢澤 貴	博士	Increased IL-17 production correlates with both immunosuppression involving MDSC and nutritional impairment in patients with various gastrointestinal cancers.
小林 正悟	博士	Efficacy and toxicity of T cell-replete haploidentical stem cell transplantation in children with refractory or relapsed acute leukemia.
安藤 等	博士	悪性髄膜腫における低酸素誘導因子 HIF の機能解析
馮 曉敏	博士	Impairment of FOS mRNA stabilization following translation arrest in granulocytes from myelodysplastic syndrome patients.
渡部 真裕	博士	A novel peptide derived from the fusion protein heptad repeat inhibits the replication of subacute sclerosing panencephalitis (SSPE) virus in vivo and in vitro.
待井 典剛	博士	Interaction of resistin, adiponectin and TNF- $\alpha$ in 3T3-L1 adipocyte.
松尾 洋平	博士	Relationships between LBP-related cerebral substrates and surrounding neural networks and psychophysical characterization in chronic low back pain patients. - An fMRI study -
栗原 正人	博士	Inhibitory effect of $\beta$ -hydroxybutyric acid on L-type $Ca^{2+}$ current under $\beta$ -adrenergic stimulation in guinea pig cardiac ventricular myocytes.
尾形 浩	博士	L-アルギニン経口投与による健康ボランティアの呼気中 NO 濃度の変化
島田 孝子	博士	Neurogenin2 expression together with NeuroM regulates GDNF family neurotrophic factor receptor $\alpha 1$ (GFR $\alpha 1$ ) expression in the embryonic spinal cord.
岡本 正博	博士	NEONATAL ADMINISTRATION OF PHENCYCLIDINE DECREASES THE NUMBER OF PUTATIVE INHIBITORY INTERNEURONS AND INCREASES NEURAL EXCITABILITY TO AUDITORY PAIRED CLICKS IN THE HIPPOCAMPAL CA3 REGION OF FREELY MOVING

	ADULT MICE.
塩谷 康夫	Neutrophil Elastase Inhibitor Ameliorates Murine Experimental Colitis.
勝嶋 史子	自己免疫性肝疾患におけるマイクロRNAの検討
岩館 治代	Plasma osteopontin correlates bone resorption markers in rheumatoid arthritis patients.
野本 美香	Bioengineered trachea using autologous chondrocytes for regeneration of tracheal cartilage in a rabbit model.
<b>平成25年度前期分医学博士授与者</b>	
氏名	学位論文名
中野 裕子	ゲラニルゲラニルアセトンは正常糖濃度でヒト子宮頸癌細胞の増殖を抑制する
渡辺 洋平	The analysis of HOXA-family gene expression and its clinical significance in colorectal cancer.
大河内千代	A study of ING2 structure and function in regulation of gene expression.
菅波 梓	H9c2細胞のK電流に対する芍薬甘草湯の抑制作用
辻 雅善	[Chapter 1] Development of screening method using HPLC/UV for the determination of nicotine and cotinine in hair samples. [Chapter 2] Determination of a hair nicotine cut-off value to distinguish smokers from non-smokers in general male adults.
齊藤 理恵	Anti-carbonic anhydrase III autoantibodies in vasculitis syndrome.
山田 慎哉	Coronary Artery Spasm Related to Thiol Oxidation and Senescence Marker Protein-30 in Aging.
猪腰 弥生	CLINICAL SIGNIFICANCE OF HYALURONAN IN PATIENTS WITH INTERSTITIAL PNEUMONIA.
水上 浩行	Senescence marker protein-30 (SMP30) deficiency impairs myocardium induced dilation of coronary arterioles associated with reactive oxygen species.
佐藤 崇匡	Prognostic factors in patients with chronic heart failure.

## 人 事

(平成25年8月1日現在)

◎**新役員**

昇任 H25.5.1 法人 理事(教育研究・人材開発担当) 大戸 齊

◎**新任教授等**

昇任 H25.3.1 甲状腺内分泌学講座 教授 鈴木 眞一  
 昇任 H25.4.1 放射線医学県民健康管理センター 教授 ケネス E. ノレット  
 昇任 H25.4.1 地域・在宅看護学部 教授 高瀬 佳苗  
 採用 H25.4.1 臨床検査医学講座 教授 志村 浩己  
 昇任 H25.5.1 器官制御外科学講座 教授 大竹 徹  
 昇任 H25.5.1 会津医療センター準備室 医監兼教授 三瀧 忠道  
 昇任 H25.5.1 会津医療センター準備室 主任部長兼教授 北條 洋  
 採用 H25.5.1 地域救急医療支援講座 教授 伊関 憲  
 採用 H25.5.1 会津医療センター準備室 医監兼教授 井上 新平  
 転入 H25.5.12 (会) 総合内科学講座 医監兼教授 鈴木 啓二  
 転入 H25.5.12 (会) 感染症・呼吸器内科学講座 医監兼教授 新妻 一直  
 学内異動 H25.5.12 (会) 漢方医学講座 医監兼教授 三瀧 忠道  
 学内異動 H25.5.12 (会) 循環器内科学講座 医監兼教授 鶴谷 善夫  
 学内異動 H25.5.12 (会) 血液内科学講座 医監兼教授 大田 雅嗣  
 学内異動 H25.5.12 (会) 消化器内科学講座 医監兼教授 入澤 篤志  
 学内異動 H25.5.12 (会) 糖尿病・代謝・腎臓内科学講座 医監兼教授 塚本 和久  
 学内異動 H25.5.12 (会) 精神医学講座 医監兼教授 井上 新平  
 学内異動 H25.5.12 (会) 小腸・大腸・肛門科学講座 医監兼教授 富樫 一智  
 学内異動 H25.5.12 (会) 外科学講座 医監兼教授 齋藤 拓朗  
 学内異動 H25.5.12 (会) 整形外科・脊椎外科学講座 医監兼教授 白土 修  
 学内異動 H25.5.12 (会) 耳鼻咽喉科学講座 医監兼教授 小川 洋  
 学内異動 H25.5.12 (会) 臨床医学部門 主任部長兼教授 北條 洋  
 採用 H25.6.1 災害医療支援講座 教授 入江 嘉仁  
 採用 H25.7.1 システム神経科学講座 教授 永福 智志

昇任 H25.7.1	療養支援看護学部門	教授	坂本 祐子	科部長兼准教授	澁川 悟朗
採用 H25.8.1	疫学講座	教授	大平 哲也	学内異動 H25.5.12	(会) 糖尿病・代謝・腎臓内科学講座
採用 H25.8.1	放射線物理化学講座	教授	石川 徹夫	科部長兼准教授	国見 基瑩
採用 H25.8.1	甲状腺内分泌学講座	教授	鈴木 悟	学内異動 H25.5.12	(会) 糖尿病・代謝・腎臓内科学講座
昇任 H25.8.1	(会) 小腸・大腸・肛門科学講座			科部長兼准教授	荻原 健英
		主任部長兼教授	遠藤 俊吾	学内異動 H25.5.12	(会) 整形外科・脊椎外科学講座
				科部長兼准教授	岩渕 真澄
◎新任准教授等				学内異動 H25.5.12	(会) 漢方医学研究室
昇任 H25.3.1	眼科学講座	准教授	古田 実	科部長兼准教授	鈴木 雅雄
採用 H25.4.1	甲状腺内分泌学講座	准教授	福島 俊彦	学内異動 H25.5.12	(会) 小腸・大腸・肛門科学講座
採用 H25.4.1	会津医療センター準備室			科部長兼准教授	遠藤 俊吾
		准教授	鈴木 雅雄	学内異動 H25.5.12	(会) 小腸・大腸・肛門科学講座
採用 H25.4.1	会津医療センター準備室			科長兼准教授	歌野 健一
		科部長兼准教授	鈴木 朋子	昇任 H25.6.1	神経精神医学講座 准教授 増子 博文
採用 H25.4.1	会津医療センター準備室			組織改正 H25.7.1	システム神経科学講座
		科部長兼准教授	国見 基瑩	採用 H25.8.1	先端臨床研究センター 准教授 浄土 英一
採用 H25.4.1	会津医療センター準備室				富永 英之
		科長兼准教授	歌野 健一	◎新任講師等	
採用 H25.4.1	先端臨床研究センター	准教授	久保 均	採用 H25.3.1	先端臨床研究センター 講師 島雄 大介
採用 H25.4.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター			採用 H25.3.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
		准教授	箱崎 道之		講師 星 裕孝
採用 H25.4.1	放射線医学県民健康管理センター			採用 H25.4.1	療養支援看護学部門 講師 大崎 瑞恵
		特命准教授	八木亜紀子	採用 H25.4.1	地域・在宅看護学部門 講師 古戸 順子
昇任 H25.4.1	生化学講座	准教授	苅谷 慶喜	採用 H25.4.1	会津医療センター準備室 科長 大谷 泰介
昇任 H25.4.1	器官制御外科学講座	准教授	大木 進司	昇任 H25.4.1	臓器再生外科学講座 講師 見城 明
昇任 H25.4.1	形成外科学講座	准教授	大河内真之	昇任 H25.4.1	器官制御外科学講座 講師 中村 泉
昇任 H25.4.1	会津医療センター準備室			昇任 H25.4.1	耳鼻咽喉科学講座 講師 野本 幸男
		科部長兼准教授	澁川 悟朗	採用 H25.5.1	会津医療センター準備室 科長 杉 正俊
採用 H25.5.1	細胞科学研究部門	准教授	井上 直和	採用 H25.4.1	会津医療センター準備室 科長 上野 孝治
昇任 H25.5.1	放射線健康管理学講座			転入 H25.5.12	(会) 循環内科学講座
		准教授	緑川 早苗		科長兼講師 玉川 和亮
転入 H25.5.12	(会) 総合内科学講座			転入 H25.5.12	(会) 循環内科学講座
		科部長兼准教授	飯塚 美伸		科長兼講師 宗像 源之
転入 H25.5.12	(会) 総合内科学講座			転入 H25.5.12	(会) 感染症・呼吸器内科学講座
		科部長兼准教授	酒井 一吉		科長兼講師 齋藤美和子
転入 H25.5.12	(会) 外科学講座			転入 H25.5.12	(会) 臨床医学部門
		科部長兼准教授	浅野 宏		科長兼講師 白石 克則
転入 H25.5.12	(会) 外科学講座			学内異動 H25.5.12	(会) 総合内科学講座
		科部長兼准教授	竹重 俊幸		科長兼講師 上野 孝治
転入 H25.5.12	(会) 臨床医学部門			学内異動 H25.5.12	(会) 漢方医学講座
		科部長兼准教授	角田 保雄		科長兼講師 金子 明代
転入 H25.5.12	(会) 臨床医学部門			学内異動 H25.5.12	(会) 精神医学講座
		科部長兼准教授	佐藤 文康		科長兼講師 久村 正樹
転入 H25.5.12	(会) 臨床医学部門			学内異動 H25.5.12	(会) 小腸・大腸・肛門科学講座
		科部長兼准教授	鈴木 重行		科長兼講師 大谷 泰介
学内異動 H25.5.12	(会) 漢方医学講座			学内異動 H25.5.12	(会) 小腸・大腸・肛門科学講座
		科部長兼准教授	鈴木 朋子		科長兼講師 五十畑則之
学内異動 H25.5.12	(会) 血液内科学講座			学内異動 H25.5.12	(会) 耳鼻咽喉科学講座
		科部長兼准教授	角田 三郎		科長兼講師 横山 秀二
学内異動 H25.5.12	(会) 消化器内科学講座				

学内異動 H25.5.12 (会) 臨床医学部門  
 科長兼講師 杉 正俊  
 昇任 H25.6.1 器官制御外科学講座 講師 隈元 謙介  
 昇任 H25.6.1 形成外科学講座 講師 齋藤 昌美  
 昇任 H25.7.1 呼吸器内科学講座 講師 齋藤 純平  
 組織改正 H25.7.1 システム神経科学講座  
 講師 高橋 和巳  
 採用 H25.8.1 人間科学講座 講師 マーティン ポール  
 採用 H25.8.1 基礎看護学部門 講師 堀内 輝子

◎**新任事務局等**

転入 H25.4.1 事務局 事務局次長(業務担当) 五十嵐宏治  
 転入 H25.4.1 事務局 事務局次長(復興担当) 大谷 英明  
 転入 H25.4.1 企画財務課 課長 安達 豪希  
 転入 H25.4.1 医事課 課長 齋野 和則  
 昇任 H25.4.1 事務局 事務局参事兼課長 玉川 芳明  
 昇任 H25.4.1 健康調査課 課長 根本 達弥  
 組織改正 H25.4.1 復興事業推進課 課長 安達 和久  
 組織改正 H25.4.1 医療-産業連携推進室  
 室長 中村 修二  
 転入 H25.5.12 (会) 事務局 事務局長 佐藤 正尚  
 転入 H25.5.12 (会) 事務局  
 事務局次長兼総務課長 飛知和好夫

■ **新任あいさつ**



**理事(教育研究・人材開発担当)・副学長就任ご挨拶**  
 - 県民の健康を守り、  
 獲得する医療人を育成する -

理事・副学長・医学部長  
**大 戸 齊**

大震災から2年10か月が経過して、福島県民は、まさに復興という歴史の最中にいます。2013年4月に副学長(教育育成担当)に就任し、理事長から県民のために貢献できる機会を与えていただき、心を引き締め日々働いています。多くの援助の手を借りながらも、県民自らの手で、自身の健康と安全を図ることが何よりも肝心です。福島医大は歴史的な使命を担うことになり、人材を獲得・育成し、自然災害医学と放射線災害医学の世界的研究・実践拠点を構築することが求められ、また成し遂げなければなりません。

2011年に設置された「放射線健康管理学講座」と「放射線生命科学講座」に引き続き、その後、県民健康管理を支援する「甲状腺内分泌学講座」と「災害こころの医学講座」も設置されました。さらには「疫学講座」も加わり、

社会医学系講座や放射線医学県民健康管理センターも一体となり、県民のこころや妊産婦と子どもの健康を支えていくこととなります。また、基礎医学系の「放射線物理化学講座」は基礎研究を通じて環境動態や評価を行っています。このように、福島県立医大は幅広いジャンルで今後トータルに必要な部門を充実させてきました。

幸いにも県内ほとんどの地域で放射線レベルは欧州よりも低くなり、今後は心を前向きに充実させていけば、福島県民が将来世界でも最も健康な県民になっていることも夢ではありません。



**会津医療センター長就任  
ご挨拶**

会津医療センター長  
**高 久 史 磨**

私は平成24年4月から会津医療センター準備室長をつとめさせていただいていましたが、平成25年5月12日のセンターの開院と共に会津医療センター長に就任する事になりました。私の父親が会津坂下町の出身であったため、震災と原発の後遺症に悩まされている福島県のお役に立てばと思い準備室長、センター長の役をお引き受けした次第ですが、毎月の会津医療センターでの教授会の司会をするのが主な仕事で、折角福島県立医科大学の一員とさせていただいたのに、私の住居が東京にあり東京での仕事も多いので、大学の色々な行事に参加することができない事が多く、ご案内をいただく毎に非常に心苦しい思いをしています。しかし、重要な行事の時には何とか時間の都合をつけて出席する様努力する心算ですのでよろしく御了解下さる様お願いします。

会津医療センターはおかげ様で優秀な人材が集まり、12講座、23診療科、5センター、附属研究所(3研究室)という体制で発足する事ができました。福島県立医科大学の皆様の御力添えのおかげと感謝しています。私ができる事は非常に限られていますが、会津地区における医療の発展、医学生、研修医に対する教育の充実にも少しでもお役に立てればと常に願っており、そのための努力を惜しまないつもりです。福島県立医科大学の皆様のさらなる御援助をお願いして就任の御挨拶とさせていただきます。



## 主任教授就任ご挨拶

甲状腺内分泌学講座

主任教授 鈴木 眞一

2013年3月1日付けで、甲状腺内分泌学講座主任教授を拝命いたしました。1983年本学医学部医学科を卒業後、故遠藤辰一郎名誉教授のもと本学旧外科学第2講座（現器官制御外科学講座）に入局後、阿部力哉名誉教授、竹之下誠一現器官制御外科学講座主任教授兼副理事長の薫陶を受け、腫瘍外科学の研鑽に励みました。2008年には乳腺・内分泌・甲状腺外科部長および附属病院教授、2010年には医学部器官制御外科学講座教授を拝命いたしました。2011年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故による放射線の健康影響につき、福島県県民健康調査の4つの詳細調査の1つである「甲状腺検査」の部門長として事故当時の18歳以下の福島県民約36万人に対し甲状腺超音波検査を実施して参りました。甲状腺の外科腫瘍学だけでなく最新の超音波診断を専門としていたため、今回の事故後はまさに天命と受け止め、粉骨砕身事業の推進に努めております。本事業は長きにわたる計画で有り、理事長や多くの役員の皆様のご高配により、甲状腺に特化した内科外科合同の講座を作っていただきました。私どもは本事業を推進する実働部隊だけでなく、今後の科学的なデータの発信、専門医等の育成、そして当講座が国内外の甲状腺の拠点となる使命を課せられ設立されたものと認識しております。本年8月1日には信州大学から鈴木悟先生が当講座の内科教授に就任され私共々本事業に邁進しているところです。どうか、この使命を果たすべく私ども教室員一丸となり日夜努力を惜しみませんが、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 主任教授就任ご挨拶

臨床検査医学講座

主任教授 志村 浩己

平成25年4月1日付けで臨床検査医学講座の主任教授を拝命致しました。私は、山梨生まれで山梨医科大学（現在山梨大学医学部）に1期生として入学し、これまでは山梨県を中心に内分泌代謝領域（専門は甲状腺内科学）の診療と研究を行って参りました。これまで福島県とはほとんど縁が無かったのですが、東日本大震災発生後、県民健康管理調査「甲状腺検査」の学外委員および検査者として参加

させて頂くようになり、福島県立医科大学の先生方や検査部技師の皆様、また県民健康管理センターのスタッフの皆様にお世話になる機会が増えていたことから、今回の福島県立医科大学臨床検査医学講座への縁が繋がったと感じております。

医療は、医療面接、診察、臨床検査の3本の柱により得られた患者さんの情報に基づき行われます。このうち、臨床検査により得られる情報は、現代の医療において広く行われている「証拠に基づいた医療 = EBM」の「証拠」となる非常に重要な位置を占めています。本講座では附属病院検査部と連携して、臨床検査のうち、「検体検査」「生理機能検査」「微生物検査」の実施運営に携わっています。講座としても、これから医療の現場に出て行く学生にとって必須の臨床検査についての知識や評価方法の教育を充実させるとともに、臨床検査に関する研究を推進して参ります。また、福島県にて注目されております県民健康管理調査「甲状腺検査」の運営および実施にも貢献すべく努力する所存であります。皆様にはお世話になることが多くあると思いますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 主任教授就任ご挨拶

会津医療センター漢方医学講座

主任教授 三 瀧 忠 道

平成25年5月12日に開設された会津医療センターにおいて、漢方医学講座教授を拝命致しました。大学における漢方医学の教室は全国でも珍しい存在です。漢方医学は古代中国由来ですが、日本に伝来して1500年をかけた我が国の伝統医学となり、湯液（漢方薬）と鍼灸がその両輪です。当講座は全国に先駆け、湯液と鍼灸の両分野を担う命を与えられました。

私は学生時代より千葉大学東洋医学研究会に所属し、著明な漢方研究医師たちから湯液を中心に学び、卒後は富山医科薬科大学（現・富山大学）附属病院和漢診療部を経て、(株)麻生の飯塚病院（福岡県飯塚市）で漢方診療科を創設、一貫して外来から入院診療まで、生薬（煎じ薬）を用いた臨床に従事してまいりました。鍼灸は専門ではありませんが、優秀な人材を得て、重症疾患や難治性病態への対応を目指した鍼灸部門を育てる決意です。湯液、鍼灸のいずれも病棟診療を重視し、他の臨床科と連携した体制の構築を目指して参ります。

漢方医学教育については、医学部2-4年次への講義、5・6年次の臨床実習を開始いたしました。卒後の鍼灸研修制度も開発中です。また漢方薬の品質評価や、会津特産

オタネニンジンの栽培復興など、研究も開始しました。

久々の大学勤務ですが、伝統医学的側面から現代医療の進歩に貢献し、日本型の新しい医療体系を発信したいと存じます。本学の皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。



### 主任教授就任ご挨拶

会津医療センター精神医学講座

主任教授 井上新平

現職の任命を受け早くも半年がたちました。長年勤めた高知大学を退職し、縁あって当地にお世話になりました。それは同門の丹羽先生のご尽力で実現したもので、震災支援を望んでいた私の気持ちをくみ取っていただいたと思っています。

私は、長年地域精神医療の研究を行いながら実地の取り組みをしてきました。県単位、あるいは地区単位、病院単位と様々なレベルで活動しましたが、大変やりがいのある仕事でした。会津は精神医療の面では大変恵まれていると思います。病院が多いばかりでなく社会資源的にも充実しています。地域連携についてはまだまだよく把握できていませんが、これまでお会いした精神科医、コメディカル、保健師の方がたは真面目に活動され、好感がもてます。精神科医同士の交流も盛んで風通しが良いと感じます。

その中で当センターが果たす役割としては、まず児童から高齢者まであらゆる年代を対象として common diseases を診療することです。中でも児童専門外来はスタッフが充実しており、地域ニーズに応えられていると思います。病床を持たないので重度の症例の診療には制限を受けますが、地域の病院と密に連携しながら進めたいと思っています。さらに総合病院の利点を生かして、救急場面における精神医学的関与、リエゾン精神医学の充実、緩和ケアへの参加などが重要です。

最後に被災地での活動として、浜通りで活動している方々と交流し少しでも貢献できればと考えているところです。

皆様のご指導、ご支援をよろしく願いいたします。



### Greeting

Professor, Radiation Medical Science Center  
for the Fukushima Health Management Survey

**Kenneth E. Nollet**

It is a privilege to have this opportunity to greet people who are colleagues, friends, and fellow citizens of Fukushima. This university was known to me from specialty training in transfusion medicine, especially, for FMU's pioneering use of ionizing radiation to prevent transfusion-associated graft-versus-host disease. Speaking or writing, I have cited our university's research everywhere I have ever worked (Minnesota, California, Queensland) or participated in academic discourse (so far, 5 of the 7 continents). So it was an honor to be invited to Fukushima after the Australian Red Cross Blood Service found a qualified citizen to replace me as their National Medical Education Program Manager.

The hardships of people on the Tohoku coast and around Fukushima Daiichi are still beyond my imagination, but the quiet and well-mannered resolve of colleagues and neighbors after 3.11 is an enduring, and endearing, memory. Here is where I imagine spending the rest of my life. There is still much to do for transfusion safety and for patients who conscientiously refuse transfusion, so I am grateful to remain in the Department of Blood Transfusion and Transplantation Immunology, even while directing the Radiation Medical Science Center's Department of International Cooperation. Of course conflicts arise about time, resources, and how to communicate: with each other, with the people of Fukushima, and now, more than ever, with the world. But conflicts can be constructively managed, especially in Japan, to build a better world. Let's do this together.



### 教授就任ご挨拶

器官制御外科学講座

教授 大竹 徹

この度、平成25年5月1日付けで竹之下誠一副理事長兼器官制御外科学講座主任教授のご高配により器官制御外科学講座教授兼乳腺外科部長を拝命致しましたので、ご挨拶申し上げます。

私は平成2年に先代の阿部力哉名誉教授が主宰する外科学第二講座に入局致しました。阿部先生のご高配により大学院では若狭治毅名誉教授の病理学第一講座で乳管腺葉系の3次元病理解析をテーマに乳腺病理を学ぶことができました。その後、現在の器官制御外科学講座におきましても、基礎病理を背景とした腫瘍外科学の研究や教育に携わっております。また、兼務するふくしま国際医療科学センター医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター臨床研究・治験分野では、福島医薬品関連産業支援拠点化事業を臨床医の立場から支援しています。

腫瘍外科学は悪性腫瘍に対する診断、手術治療、薬物療法、緩和療法、放射線療法を通じて癌の集学的治療を体系的に学ぶことができる重要な分野です。また、先端診断技術、新規薬物療法の開発、治療効果予測マーカーの探索など、癌治療における革新的技術開発には必要不可欠の分野でもあります。私どもに与えられた使命は、外科学教室の運営を通じて多くの優れた腫瘍外科医を輩出することであると考えています。多くの専門医を育成するとともに、質の高い臨床研究を行うことで、福島発の新知見を国内外に示すことができるよう尽力する所存です。今後とも皆様方の温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

地域救急医療支援講座

教授 伊 関 憲

この度、平成25年5月1日付けで福島県立医科大学医学部地域救急医療支援講座教授を拝命いたしましたので、紙面をもちまして御挨拶申し上げます。

私は、福島県立医科大学医学部を卒業後麻酔科学講座に入局し、その後附属研究所細胞科学研究部門にて基礎研究を行いました。

平成15年からは山形大学医学部に異動して、救急医学講座の立ち上げに携わりました。山形大学医学部附属病院の救急医療は、一次から三次までを行うER方式と、低体温療法、急性中毒、重症熱傷などの集中治療管理です。

救急医療は医師としての原点であると私は考えています。このため、医学生と研修医がなるべく患者さんと近いところで研修することを念頭に置き指導しております。卒前教育では、救急部において現場参加型の臨床実習を行い、医学生が多くの患者を診察できる場を提供しました。卒後教育では、基本手技から鑑別診断を中心に考えながら行い、最善の医療を選択できるように指導を行いました。

山形大学には10年間在籍しておりましたが、今回「地域

救急医療支援講座」の設立にあたり本学へ帰って参りました。

「地域救急医療支援講座」は福島市からの寄付講座として設立されました。主な目的は、福島市の一次から二次救急の見直しと、臨床研修医への救急医療の指導です。これまで山形で培った経験を生かして、福島市のみならず県民の医療へ貢献していきたいと存じます。御指導、御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



### 特命教授就任ご挨拶 －福島県の看護学教育体制の 充実を願う－

理事長付特命教授

川 原 礼 子

福島県立医大の学生および教職員のみなさま、私は平成20年度より本大学の教育研究審議会の外部委員を務めまして、この4月から名誉ある理事長付特命教授を拝命いたしました。

経歴ですが、病院看護師として5年間勤務したのち、私立の医科大学に入学して医師の資格を取得し、弘前大学医学部の関連病院に内科医として12年間勤務しました。そして、1995年より老年看護学を専門として看護教育に携わり、今年3月、東北大学医学系研究科教授を定年退職しました。

近年、医学の進歩とともに、高度で先端的な看護技術はもとより、人々の生活の質の向上に配慮した看護の提供が求められています。自身の経歴を通して強く思うことは、キュアとケアを統合・融合させ、自律してあるいは医師と協働して看護展開ができる、より実践的な人材の育成が必要であることです。そのためには教育のシステムや内容を成長させていかなくてはなりません。

我が国における看護は、大学教育が推進され、現在看護系大学数は200校を超えました。しかし、なぜか福島県には人口の割に大学数は非常に少なく、本大学1校のみであり、さらにその本学においては看護学博士課程が設置されておらず、一人前の教育体制になっていません。これらのことは看護学の教育者・研究者の供給と人材の輩出、ひいては震災からの復興に影響していると考えます。本学看護学部に博士課程を設置して教育体制を充実させ、福島県の医療・看護へ貢献できればと、その手法や自身の役割を模索している毎日でございます。

## 諸規程改正

### ■平成25年2月から平成25年7月までの 主な諸規程の制定改廃関係

- 公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターPET 運営委員会要綱の制定  
(平成25年2月1日制定・平成25年2月1日施行)  
ふくしま国際医療科学センターPET 運営委員会に關し、必要な事項が定められました。
- 公立大学法人福島県立医科大学看護学部放射線障害予防規程を廃止する規程の制定  
(平成25年3月1日制定・平成25年3月1日施行)  
公立大学法人福島県立医科大学看護学部放射線障害予防規程が廃止されました。
- 公立大学法人福島県立医科大学附属病院先進医療審議委員会設置要綱の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年3月13日施行)  
第2条「所掌事項」及び第6条「審議事項」に係る規定が改正されました。
- 役員会運営に係る申合せの一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年3月22日施行)  
事務局の組織改正に伴い、役員会における構成員以外  
の出席者に、副理事及び事務局次長（復興担当）が追加  
されました。
- 公立大学法人福島県立医科大学契約細則の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年3月22日施行)  
県財務規則の改正に伴い、委託契約締結時の入札保証  
金免除規定を追加しました。また、第36条「契約書の記  
載事項」に、談合、個人情報及び暴力団に関する事項が  
追加されました。
- 公立大学法人福島県立医科大学医学部臨床教授等に関す  
る申合せの一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
1 「第3条関係」において、「学長が認める医療機関」  
が「学長が認める機関」に改正されました。また、3  
「第5条関係」において、称号を付与する臨床教授等の  
総数が「80名程度」から「120名程度」に改正されまし  
た。
- 公立大学法人福島県立医科大学医学部履修規程の一部改  
正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
開設科目名の変更等に伴い、別表が改正されました。
- 福島県立医科大学大学院学則の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
大学院医学研究科修士課程及び看護学研究科修士課程  
において、授業科目の追加及び名称変更が行われました。

- 公立大学法人福島県立医科大学職員の職の格付に関する  
規程の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
看護部副部長の格付けが、看護部副部長相当職から看  
護部長相当職に変更されました。
- 福島県立医科大学附属病院医薬品等製造販売後調査実施  
細則の制定  
(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
医薬品等の製造販売後調査が適正かつ円滑に実施され  
ることを目的に、調査に関する必要事項が制定されまし  
た。
- 福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則の  
一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
第2条「適用範囲」、第3条「定義」、第4条「治験審  
査委員会」、第5条「会議」及び第6条「病院長の責務」  
等に係る規定が改正されました。
- 福島県立医科大学附属病院医薬品安全使用部会内規の一  
部改正  
(平成20年6月5日制定・平成25年4月1日施行)  
薬剤部の組織体制の変更に伴い、別表1のうち「医療  
連携相談室看護師長」が「6階西棟看護師長」へ変更  
されました。
- 福島県立医科大学附属病院インシデント評価部会内規の  
一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
「福島県立医科大学附属病院医療事故防止対策委員会  
設置要綱」との整合を図るため、第1条「趣旨」に係る  
規定が改正されました。
- 福島県立医科大学附属病院医療クオリティ審議委員会内  
規の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
薬剤部の組織体制の変更に伴い、附則が追加されまし  
た。
- 福島県立医科大学附属病院医療事故防止対策委員会設置  
要綱の一部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
薬剤部の組織体制の変更に伴い、第2条「組織等」に  
係る規定に「薬剤部長」及び「事務局次長（業務）」が  
追加されました。
- 福島県立医科大学附属病院医療安全管理部業務規程の一  
部改正  
(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)  
「福島県立医科大学附属病院規程」と整合を図るため、  
第1条「趣旨」、第2条「組織」、第3条「業務分掌」及  
び第4条「ジェネラルリスクマネージャー」に係る規定  
が改正されました。

- |   |   |
|---|---|
| <p>○福島県立医科大学附属病院感染制御部業務規程の制定<br/>(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>福島県立医科大学附属病院感染制御部の業務分掌に関し、必要な事項が定められました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院治験センター規程の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>製造販売後臨床試験を実施するため、業務対象が「治験」から「治験等」に改正されました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>治験審査委員会の委員に臨床検査技師及び看護技師が追加されました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院規程の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>甲状腺内分泌学講座の設立に伴い、「乳腺・内分泌・甲状腺外科」が「甲状腺・内分泌外科」及び「乳腺外科」へ変更されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>県の規則改正をうけ、第6条「採用手続」、第13条「休職期間等」、第39条「特別休暇」、第40条「無給の休暇」及び第53条「旅費」が改正されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>県の規則改正をうけ、第6条「採用手続」、第14条「休職期間等」、第40条「特別休暇」、第41条「無給の休暇」及び第55条「旅費」が改正されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学研修歯科医就業規則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>県の規則改正をうけ、第6条「採用手続」、第13条「休職期間等」、第34条「特別休暇」、第35条「無給の休暇」及び第48条「旅費」が改正されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学臨床研修医就業規則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>第1章「総則」に会津医療センターが追加されました。また、県の規則改正をうけ、第4条「採用手続」、第13条「休職期間」、第40条「特別休暇」、第41条「無給の休暇」及び第55条「旅費」が改正されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学広報戦略室要綱の一部改正<br/>(平成24年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>広報戦略室員に事務局次長（復興担当）が追加されました。</p> | <p>○福島県立医科大学附属病院医療ガス安全管理委員会設置要綱の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>薬剤部長が選任されるまでの間、要綱中の「薬剤部長」は「薬剤部副部長（総務担当）」とする附則が定められました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院輸血療法委員会設置要綱の制定<br/>(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>内規から要綱に改正されました。また、輸血療法院内監査委員会が輸血療法委員会内の組織として位置づけられました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院輸血療法院内監査委員会内規の制定<br/>(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>輸血療法院内監査委員会内における規約が、新たに附属病院内規として制定されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学准職員及び非常勤職員給与規程の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>初任給基準が改正されたことに伴い、第5条「給料」が改正されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学職員特殊勤務手当細則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>夜間等特殊勤務手当のうち深夜の全部を含む看護の業務について、手当額6,800円を支給することが追加されました。また、専ら臨床研修医を指導する業務に従事した場合に支給される手当（臨床研修医指導手当）の支給対象職員に、医療職給料表（一）適用職員が追加されました。</p> <p>○公立大学法人福島県立医科大学職員甲状腺検査手当細則の制定<br/>(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>甲状腺検査手当が新設されたことに伴い、当該手当の支給に関し必要な事項が定められました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院の病院運営連絡会議に関する細則の一部改正<br/>(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>薬剤部長が選任されるまでの間、第3条中「薬剤部長」とあるのは、「薬剤部副部長（総務担当）」とする附則が定められました。</p> <p>○福島県立医科大学附属病院臨床検査適正化委員会設置要綱の制定<br/>(平成25年4月1日制定・平成25年4月1日施行)<br/>福島県立医科大学附属病院における臨床検査の適正な実施体制を確保するため、福島県立医科大学附属病院臨床検査適正化委員会が設置されました。</p> |
|---|---|

○福島県立医科大学附属病院臨床検査外部委託要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

臨床検査外部委託委員会が廃止、外部委託の検査項目が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

平成25年4月1日より、作業療法士、はり師及びきゅう師に医療職給料表(二)が適用されました。また、県民健康管理調査事業のさらなる進展をはかるため、甲状腺検査手当が新設されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員の職の格付に関する規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

看護部副部長(総務担当)の格付けが、看護部副部長相当職から看護部長相当職に変更されました。また、一般職給料表格付表に心理判定員等が追加されました。

○福島県立医科大学附属病院医療安全管理部業務規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

福島県立医科大学附属病院規程と整合を図るため、第2条「組織」からジェネラルリスクマネージャーを削除するとともに、看護師が加えられました。また、第4条「ジェネラルリスクマネージャー」に関する規程が改正されました。

○福島県立医科大学附属病院インシデント評価部会内規の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

当該内規の根拠となる「福島県立医科大学附属病院医療事故防止対策委員会設置要綱」との整合を図るため、第1条「趣旨」が改正されました。

○福島県立医科大学附属病院医療事故防止対策委員会設置要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

第2条「組織等」に薬剤部長及び事務局次長(業務)が追加されました。また、薬剤部長が選任されるまでの間、第2条中「薬剤部長」とあるのは、「薬剤部副部長(総務担当)」とする附則が定められました。

○福島県立医科大学附属病院医療クオリティ審議委員会内規の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

薬剤部長が選任されるまでの間、第3条中「薬剤部長」とあるのは、「薬剤部副部長(総務担当)」とする附則が定められました。

○福島県立医科大学附属病院医薬品安全使用部会内規の一部改正

(平成20年6月5日制定・平成25年4月1日施行)

薬剤部長が選任されるまでの間、第2条中「薬剤部長」とあるのは、「薬剤部副部長(総務担当)」とする附

則が定められました。

○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

附属病院の自由診療に関する諸料金が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学の庁舎等医事保全に関する委託契約に係る入札(見積)参加者の資格審査及び指名等に関する要綱の一部改正

(平成19年11月7日制定・平成25年4月1日施行)

事務局の組織改正及び会津医療センター開設に伴い、指名委員会の組織及び委員に事務局次長(復興担当)及び会津医療センター事務局長等が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学工事の請負契約等に係る条件付一般競争入札参加資格の設定等に関する要綱の一部改正

(平成19年11月1日制定・平成25年4月1日施行)

事務局の組織改正及び会津医療センターの開設に伴い、審査委員会の組織及び委員に事務局次長(復興担当)及び会津医療センター事務局長等が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学利益相反のマネジメントに関する要綱の一部改正

(平成21年3月25日制定・平成25年4月1日施行)

事務局が、企画財務課から研究推進課に変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト教員等給与規程の一部改正

(平成20年9月16日制定・平成25年4月1日施行)

会津医療センターの開設に伴い、規定中の「会津医療センター準備室」が「会津医療センター」へ変更されました。

○福島県立医科大学看護学部履修規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

授業科目のうち、体育(演習30時間)が体育Ⅰ(演習30時間)及び体育Ⅱ(講義15時間)に変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理実施本部要綱の一部改正

(平成23年9月1日制定・平成25年4月1日施行)

組織改正に伴い、第3条「組織等」に係る規定が改正されました。

○福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター規程の一部改正

(平成23年9月1日制定・平成25年4月1日施行)

組織改正に伴い、第3条「組織」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学医学部附属放射性同位元素研究施設放射線障害予防規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

所轄庁が文部科学大臣から原子力規制委員会へ変更となったことに伴い、第7条の2「定期講習」、第37条「危険時の措置」及び第38条「事故の報告」に係る規定が改

正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学核燃料物質計量管理規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

所轄庁が文部科学大臣から原子力規制委員会へ変更となったことに伴い、第9条「報告」に係る規定が改正されました。

○福島県立医科大学核燃料物質の計量管理に関する取扱要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

所轄庁が文部科学大臣から原子力規制委員会へ変更となったことに伴い、「対象物」及び「使用予定量の把握」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

○公立大学法人福島県立医科大学准職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

○公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月1日施行)

○公立大学法人福島県立医科大学寄附講座アドバイザー設置要綱の一部改正

(平成24年9月26日制定・平成25年4月8日施行)

寄附講座アドバイザーによる、各寄附講座の研究活動実績及び今後の計画・見通し等に関する評価・助言に係る規定が改正されました。

○福島県立医科大学大学院医学研究科履修規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月17日施行)

医学専攻における共通基盤教育科目に研究デザイン学が追加されました。また、履修方法が変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学県民健康管理調査法律相談に関する事務取扱要綱の制定

(平成25年4月19日制定・平成25年4月19日施行)

県民健康管理調査に係る法務対応に関する事務取扱要綱が制定されました。

○役員会運営に関する申合せの一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年4月24日施行)

会津医療センターの開設に伴い、「2 役員会構成員以外出席者」に会津医療センター事務局長が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学地域医療支援本部要綱の一部改正

(平成24年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、本部長が企画・地域医療担当役員へ変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学企画室要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

公立大学法人福島県立医科大学定款の一部改正に伴い、

第2条「組織等」及び第3条「業務」に係る規定が改正されました。

○福島県立医科大学医学部医学科・大学院医学研究科MD-PhDプログラムに関する申合せの一部改正

(平成23年2月16日制定・平成25年5月1日施行)

「3 募集する科目」において、法医学、神経生理学、細胞科学、分子遺伝学、腫瘍細胞病理学及び分子細胞情報学が削除され、バイオ分析化学及び分子生物学が追加されました。

○福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター教員適任者選考規程の一部改正

(平成23年9月1日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、委員会の構成員のうち企画・人材開発担当役員及び放射線医学県民健康管理実施本部長が副理事長へ変更となりました。

○福島県立医科大学部局長等選考規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、副学長(総務担当)、副学長(業務担当)及び附属病院長を担当する役員が変更されました。

○福島県立医科大学医療人育成・支援センター教員適任者選考規程の一部改正

(平成20年2月29日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、委員会の構成員のうち企画・人材開発担当役員が副理事長へ変更となりました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員懲戒要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

懲戒審査会の構成員に副学長(総務担当)が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学人事管理委員会規程の一部改正

(平成19年7月2日制定・平成25年5月1日施行)

委員会の委員に副理事長が追加され、委員の数が3名から4名へと増員されました。

○女性医師の産休等に伴う定数配分先選定委員会規程の一部改正

(平成23年10月1日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、委員が変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学広報戦略室要綱の一部改正

(平成24年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

役員体制の変更に伴い、副室長が復興・地域医療担当役員から企画・地域医療担当役員に変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学研究推進戦略室要綱の一部改正

(平成23年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

組織改正に伴い、研究推進戦略室の室長が教育研究・県民健康管理担当役員から教育研究・人材開発担当役員へ変更されました。また、研究推進戦略室の業務に、寄

附講座に関することが追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

定款の変更認可に伴い、副理事長及び理事の担当、兼務する職及び所掌事務が改正されました。

○福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月1日施行)

第3条「定義」が一部改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学研究支援事業実施要綱の一部改正

(平成23年6月1日制定・平成25年5月1日施行)

組織改正に伴い、海外研究選考評価委員会委員のうち、教育研究担当役員が教育研究・人材開発担当役員へ変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学経理細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月8日施行)

会津医療センターの設置に伴い、印章の保管及び押印の事務権限に会津医療センター事務局次長が、また、領収書の管理権限に会津医療センター事務局総務課及び医事課の出納責任者が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学会計規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月8日施行)

会津医療センターの設置に伴い、予算責任者に会津医療センター長、経理責任者に会津医療センター事務局長が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学固定資産管理細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月11日施行)

会津医療センターの開設に伴い、第5条「資産管理責任者」及び第7条「使用責任者等」に係る規定に会津医療センターが追加されました。また、別表に定める不動産等及び動産等の使用責任者に、病児病後児保育所長及び研究推進戦略室長等が追加されました。

○福島県立医科大学情報ネットワークシステム管理細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月11日施行)

第1条「趣旨」において、情報ネットワークシステムの範囲が改正されました。

○福島県立医科大学情報ネットワークシステム利用細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月11日施行)

第1条「趣旨」において、情報ネットワークシステムの範囲が改正されました。また、第3条「利用資格」に係る規定に、会津医療センターの病院助手、臨床研修医、専攻医及び研修歯科医が追加されました。

○福島県立医科大学情報ネットワークシステム利用要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月11日施行)

第1条「趣旨」において、情報ネットワークシステムの範囲が改正されました。また、第4条「利用申請等」において、申請書様式が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの開設に伴い、第2条「種類及び額」に、会津医療センター託児所利用料金が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学財務会計事務の委任に関する要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの設置に伴い、第2条「契約事務の委任」及び第3条「経理事務の委任」に、会津医療センター事務局が追加されました。また、第4条「技術審査職員」及び第5条「委任者以外の者に行わせる監督及び検査」において規定する申請者に、会津医療センター長が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学特任教授等の称号付与規程の一部改正

(平成20年2月29日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの設置に伴い、称号付与の対象となる者の範囲が変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学毒物及び劇物取扱要綱の一部改正

(平成19年3月13日制定・平成25年5月12日施行)

本要綱の適用対象に、放射線医学県民健康管理センター各部門、先端臨床研究センター、医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター各分野、会津医療センター各講座・各部門及び会津医療センター附属病院各科・各部が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員特殊勤務手当細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの開設に伴い、第10条「病院等特殊業務手当」が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター教員選考に係る資格審査委員会規程の一部改正

(平成21年8月12日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの開設に伴い、規程中の「会津医療センター(仮称)」が「会津医療センター」へ変更となりました。また、第5条「庶務」が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)

会津医療センターの開設に伴い、会津医療センターの職員の勤務時間を規定した特例が追加されました。

- |  |  |
|--|--|
| <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学職員に係る管理職員等の範囲を定める規程の一部改正</b><br/>(平成20年3月19日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、別表中の会津医療センターに関する名称等が変更されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学職員の職の格付に関する規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、職員の職の格付表に会津医療センターの職員が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター任期付教員就業規則の一部改正</b><br/>(平成23年11月30日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、会津医療センター準備室に係る規定が会津医療センターに係る規定へ改正されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学部局長等選考規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、会津医療センター準備室長に係る規定が会津医療センター長に係る規定へ改正されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学公印規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>第5条「公印の新調、改刻又は廃止」、第10条「印影の印刷」及び第11条「電子計算機に記録した印影の打ち出し」に係る手続きが変更となりました。また、会津医療センターに係る公印が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学事務決裁規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設等に伴い、第5条「専決事項」に、会津医療センター長、会津医療センター附属病院長及び会津医療センター事務局長等が追加されました。また、第8条「代決」に、ふくしま国際医療科学センター長及び放射線医学県民健康管理センター長等が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学文書管理規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設等に伴い、第2条「定義」、第10条「文書等の記号及び番号等」及び第11条「決裁区分」に係る規定の改正並びに出先機関における郵便物の受領に係る規定が整備されました。また、文書等の收受及び配付に係る規定が改正されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学の測量等の請負契約に係る入札参加者の指名等に関する要綱の一部改正</b><br/>(平成21年10月29日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、第4条「指名選考内申」及び第5条「指名選考及び決定」に会津医療センター事務局次長が追加されました。</p> | <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学釣銭取扱要綱の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、第3条「釣銭準備金使用課及び限度額」に会津医療センター事務局が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学出納管理事務取扱要綱の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、第11条「現金で収納する場合」に会津医療センター事務局が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程の一部改正</b><br/>(平成18年4月1日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、給料表に医療職給料表(一)が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト教員等給与規程の一部改正</b><br/>(平成20年9月16日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、規定中の「会津医療センター準備室」が「会津医療センター」へ名称変更されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学危機管理室要綱の一部改正</b><br/>(平成18年4月10日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、危機管理室員に会津医療センター事務局長が追加されました。</p> <p>○<b>公立大学法人福島県立医科大学職員会津医療センター診療応援手当細則の制定</b><br/>(平成25年5月12日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センター診療応援手当の新設に伴い、手当の支給に関し必要な事項が定められました。</p> <p>○<b>会津医療センターに関する諸規程の制定</b><br/>(平成25年5月12日制定・平成25年5月12日施行)<br/>会津医療センターの開設に伴い、次の規程等が制定されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学会津医療センター教授会議規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター構内駐車場管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療廃棄物管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター実験等廃棄物管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター一般廃棄物管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター図書室管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター図書室利用規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療情報ラウンジ管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療情報部ラウンジ利用規程</li> </ul> |
|--|--|

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院長職務規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院の副病院長に関する規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院臨床研修委員会規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療安全部業務規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センターにおける職員等のネームプレートに関する規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院教授等の称号付与規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療録管理規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター教育研究委員会規程</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療廃棄物処理細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター実験等廃棄物処理細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター一般廃棄物処理細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院経営企画会議に関する細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院の運営連絡会議に関する細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院看護師長会に関する細則</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター会議室使用要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター掲示物取扱要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター拾得物取扱要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター託児所運営要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター衛生委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター託児所運営委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター図書委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門運営委員会要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院栄養管理委員会要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院栄養サポートチーム委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療宿日直員に関する要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療ガス安全管理委員会設置要綱</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学会津医療センター褥瘡対策委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療事故防止対策委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院院内感染対策委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院臨床研修医の派遣に関する要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院自治医科大学出身臨床研修医の受け入れに関する要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター医療情報システム運用管理要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院クリニカルパス委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院地域連携推進委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院感染対策チーム設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院輸血療法委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療報酬適正化対策委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院院内医療事故対策委員会要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療録管理委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療情報システム管理運営委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療材料委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院診療材料委員会運営要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療ガス安全管理要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院適切なコーディングに関するDPC委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院化学療法委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院手術部運営委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院薬事委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院緩和ケア委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院救急医療プロジェクトチーム設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院地域医療支援委員会設置要綱</li> <li>・福島県立医科大学会津医療センター附属病院病院機能</li> </ul> |
|---|---|

## 評価プロジェクトチーム設置要綱

- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院臨床検査管理委員会設置内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門臨床検査業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門放射線部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門手術部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門内視鏡診療部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門材料部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療情報部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院看護部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院薬剤部業務分掌内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院リスクマネージャー会議内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療クオリティ審議委員会内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医事紛争対策専門委員会内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院インシデント評価部内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療事故防止マニュアル作成部内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院人工呼吸安全対策委員会内規
- ・福島県立医科大学会津医療センター附属病院患者支援センター業務分掌内規

## ○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月13日施行)

会津医療センターの開設に伴い、会津医療センター鍼灸施術所施術料が追加されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学学位規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年5月15日施行)

第13条「学位論文の公表及び保管」に係る規定が改正されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学病児病後児保育所運営要綱の一部改正

(平成23年4月18日制定・平成25年5月20日施行)

病児病後児保育所の受入児童の対象年齢が、「小学校3年生まで」から「小学校4年生まで」へと変更されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学英文校正サービス利用要綱の一部改正

(平成23年10月1日制定・平成25年5月27日施行)

別表「英文校正サービス利用料金」が改正されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学特任教授等の称号付与規程の一部改正

(平成20年2月29日制定・平成25年6月1日施行)

「特任講師」の称号が追加されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年6月1日施行)

PET-MRIが保険適用となるため、附属病院の自由診療に関する諸料金から削除されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学総合科学教育研究センター運営委員会規程の一部改正

(平成20年3月31日制定・平成25年6月1日施行)

看護学部学務委員会の名称変更に伴い、運営委員会委員のうち「看護学部学務委員長」が「看護学部教務委員長」へ変更となりました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学附属病院医療事故防止対策委員会設置要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年6月10日施行)

第7条「リスクマネージャー会議」の組織員が、「委員長」から「副病院長（医療安全・質管理担当）」へ変更されました。また、第9条「医事紛争対策専門委員会」の庶務が、「医療連携相談室」から「医療連携・相談室」へ名称変更されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学学位規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年6月19日施行)

博士学位論文の予備審査が廃止されたことに伴い、学位論文の審査に係る規定が改正されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学大学院医学研究科博士学位論文審査内規の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年6月19日施行)

博士学位論文の予備審査が廃止されたことに伴い、予備審査に係る規定が改正されました。また、試験及び試験方法に係る規定が改正されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学大学院学則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年6月26日施行)

大学院医学研究科博士課程の授業科目に、研究デザイン学が追加されました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学附属病院クリニカルパス推進委員会設置要綱の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

推進委員会の構成員のうち、中央部門、内部組織等の代表者が中央診療施設等の代表者へ変更となりました。

## ○公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター図書館・展示館管理細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

展示館の開館時間及び図書館の開館時間外利用時間が

変更されました。

○公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター図書館・展示館利用細則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第14条「時間外に利用できる施設の利用範囲等」及び第18条「視聴覚教育室の利用」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

医学部の神経生理学講座が、システム神経科学講座へ改正されました。また、放射線医学県民健康管理センターに事業管理部門が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第40条「無給の休暇」及び第40条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第41条「無給の休暇」及び第41条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学研修歯科医就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第35条「無給の休暇」及び第35条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学臨床研修医就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第41条「無給の休暇」及び第41条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第20条「育児休業、育児短時間勤務、育児部分休業、自己啓発等休業及び介護休業の手続」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第38条「専門業務型裁量労働制」、第41条「特別休暇」及び第43条「育児休業、育児部分休業、修学部分休業、高齢者部分休業、自己啓発等休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学准職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第32条「無給の休暇」及び第32条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第33条「無給の休暇」及び第33条の2「育児休業、育児部分休業及び介護休業」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学任期付職員就業規則の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

一般任期付職員及び専門任期付職員に係る規定が改正されました。また、第21条「勤務時間、休憩時間、休息時間及び週休日」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第2条「勤務時間等の特例」、第2条の2「育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限」、第2条の3「育児又は介護を行う職員の早出遅出勤務」及び第12条「特別休暇及び病気休暇の承認」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学職員の育児休業等に関する規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

育児休業及び介護休業に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学附属病院医薬品等製造販売後調査実施細則の一部改正

(平成25年4月1日制定・平成25年7月1日施行)

第1条「目的」、第2条「適用」及び第6条「調査の実施の承認」に係る規定が改正されました。

○公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター規程

(平成23年9月1日制定・平成25年7月1日施行)

第3条「組織」に、事業管理部門が追加されました。

○公立大学法人福島県立医科大学附属病院医療情報診療録管理委員会設置要綱の一部改正

(平成20年5月22日制定・平成25年7月10日施行)

医療情報診療録管理委員会構成員のうち、中央部門、内部組織及び事務部等の代表者が、中央診療施設、医療安全管理部、医療情報部、看護部、薬剤部及び運営・管理部の代表者へ変更となりました。

○公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正

(平成18年4月1日制定・平成25年7月12日制定)

附属病院の自由診療に関する諸料金が改正されました。

## 役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

### ■ 役員会

【平成25年4月24日 第1回役員会】

#### ○寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

地域救急医療支援講座

(設置期間)

平成25年5月～平成30年3月(4年11か月間)

(研究テーマ)

地域救急医療体制の基盤強化

### ■ 経営審議会

【平成25年3月14日 平成24年度第4回経営審議会】

#### ○平成25年度と法人当初予算について

平成25年度当初予算案が承認された。

【平成25年6月21日 平成25年度第1回経営審議会】

#### ○平成24年度決算について

平成25年度決算が承認された。

### ■ 教育研究審議会

【平成25年3月14日 平成24年度第4回教育研究審議会】

#### ○福島県立医科大学学則の一部改正について

会津医療センターの開設に伴う改正案が審議され、原案のとおり承認された。

#### ○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

大学院修士課程において平成24年4月から「医科学コース」、「社会医学・行動科学コース」、「システム医工学コース」が新設され、授業科目を増設していることに伴う所要改正案が審議され、原案のとおり承認された。

【平成25年6月21日 平成25年度第1回教育研究審議会】

#### ○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

大学院の博士課程において授業科目「研究デザイン学」が新設されたことに伴う所要改正案が審議され、原案のとおり承認された。

### ■ 医学部教授会

【平成25年3月18日 定例教授会】

#### ○平成25年度医学部教務委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

石龍鉄樹教授(眼科学講座)

村川雅洋教授(麻酔科学講座)

志村清仁教授(自然科学講座)

以上3名の任期は、平成25年4月1日から平成27年3月末まで

八木沼洋行教授(神経解剖・発生学講座)

挾間章博教授(細胞統合生理学講座)

橋本康弘教授(生化学講座)

坂井晃教授(放射線生命科学講座)

竹石恭知教授(循環器・血液内科学講座)

中山昌明教授(腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座)

鈴木弘行教授(臓器再生外科学講座)

田勢長一郎教授(救急医療学講座)

葛西龍樹教授(地域・家庭医療学講座)

松岡有樹教授(自然科学講座)

以上10名の任期は、平成25年4月1日から平成26年3月末まで

#### ○平成25年度医学部入学試験委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

関根英治教授(免疫学講座)

渡辺浩志教授(消化器・リウマチ膠原病内科学講座)

小島祥敬教授(泌尿器科学講座)

大森孝一教授(耳鼻咽喉科学講座)

金光敬二教授(感染制御医学講座)

葛西龍樹教授(地域・家庭医療学講座)

鈴木眞一教授(甲状腺内分泌学講座)

小林恒夫教授(自然科学講座)

岡田達也教授(自然科学講座)

以上9名の任期は、平成25年4月1日から平成27年3月末まで

坂井晃教授(放射線生命科学講座)

中山昌明教授(腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座)※健康診断担当

矢吹省司教授(整形外科学講座)

志村清仁教授(自然科学講座)

本間好教授(生体情報伝達研究所生体物質研究部門)

小林和人教授(生体情報伝達研究所生体機能研究部門)

以上6名の任期は、平成25年4月1日から平成26年3月末まで

## ■ 看護学部教授会

【平成25年4月16日 定例教授会】

### ○看護学部教務委員会委員の選任について

次のとおり選任された。

- 委員長 高瀬佳苗教授（地域・在宅看護学部門）  
林 正幸教授（総合科学部門）  
本多たかし教授（生命科学部門）  
佐藤美子准教授（基礎看護学部門）  
川島理恵講師（基礎看護学部門）  
坂本祐子教授（療養支援看護学部門）  
畠山とも子准教授（家族看護学部門）  
大川貴子准教授（家族看護学部門）  
太田 操教授（母性看護学・助産学部門）  
鈴木順造看護学部長  
結城美智子看護学研究科長  
真壁玲子看護学部学生部長

なお、任期は平成25年4月1日から平成26年3月31日までとされた。

### ○看護学部入試委員会委員の選任について

次のとおり選任された。

- 委員長 志賀令明教授（総合科学部門）  
副委員長 中山 仁教授（総合科学部門）  
森 努准教授（生命科学部門）  
佐藤美子准教授（基礎看護学部門）  
坂本祐子教授（療養支援看護学部門）  
大川貴子准教授（家族看護学部門）  
高瀬佳苗教授（地域・在宅看護学部門）  
太田 操教授（母性看護学・助産学部門）  
鈴木順造看護学部長  
真壁玲子看護学部学生部長

なお、任期は平成25年4月1日から平成26年3月31日までとされた。

## 雑 報

### ■ 寄附講座の開設について

本学では次のとおり、寄附講座を開設しました。

#### ○名 称

地域救急医療支援講座

#### ○設置期間

平成25年5月1日～平成30年3月31日（4年11か月）

#### ○寄附者

福島市

#### ○設置場所

福島県福島市光が丘1番地  
（公立大学法人福島県立医科大学内）

#### ○研究体制

講座主任：横山 齊  
教 授：伊関 憲  
助 手：林田 昌子

#### ○研究テーマ

地域救急医療体制の基盤強化

## ■ 会津医療センターの開設について

福島県立医科大学会津医療センターは、菊地理事長をはじめ、地域の方々、関係者各位のご尽力により、今年5月に診療・研究・教育機能を持った施設としてスタートいたしました。

会津医療センターでは、県内随一といえる最新の内視鏡・超音波機器等の医療機器を配備し整形外科、消化器内科、小腸大腸肛門科など専門領域に特化した最先端の医療を提供しております。

また、これまでに会津になかった血液内科を設置し、血液に関わる疾患全般の診断・治療を行うとともに、県内初の漢方内科を設置し、東西両医学を融合した治療を行っております。

さらには、患者さんの視点に立った医療サービスの提供として総合内科を設置し、患者さんが診療科を迷う、間違えといった課題を解決し、必要な場合は速やかに適切な専門科と連携した医療を行っており、医師不足が顕著な会津・南会津地域においては、「へき地医療拠点センター病院」として診療応援を強化するとともに、結核、感染症医療、救急医療等の政策医療を確実に実施していくこととしております。

開設後6ヶ月が過ぎ、患者動向は概ね順調ではありますが、一方では看護師不足により、一般病床を一部休床しており、早急に看護師を確保しフルオープンさせることが大きな課題でもあります。

これからも会津地域の皆様に安心と信頼を得られるよう職員一同全力で取り組んでまいります。

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学  
事務局企画財務課  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991